

募集要項

千葉大学フロンティア医工学センターでは下記の通り教員を募集いたします。

1. 職名・人員

助教（テニュアトラック、任期 5 年） 1 名

2. 応募資格

博士の学位を有し、取得後 10 年以内（着任時）であること。または着任時までに博士の学位が取得見込みであること。医学・医療の分野において優れた研究能力を有すること。医師、薬剤師、看護師など、医療系の免許を有することが望ましい。査読付き国際論文誌に掲載された筆頭著者論文を有すること。

3. 専門分野

医学・医療の学問基盤を有すること。医療及び自身の専門領域と工学の橋渡し研究、およびその成果の社会実装に意欲的であること。

4. 担当科目等

兼務先となる大学院融合理工学府・基幹工学専攻・医工学コースの大学院教育として、特別研究および特別演習を、同じく兼務先となる工学部・総合工学科・医工学コースの学部教育として、生体生理工学、医工学実験、卒業研究等を担当していただきます。さらに医学部附属病院メドテック・リンクセンターにおける医工連携事業の企画・支援をあわせて担当していただきます。

また、通常の工学部教員と同様、入試業務等の職務もあります。センター教員として、組織の管理運営業務を担当していただくこともあります。

5. 着任（採用）時期

2022 年 10 月 1 日以降のできるだけ早い時期。

6. 任期

テニュアトラック、任期 5 年。 ※任期最終年度に再任の審査を受けていただき（3 年目に中間評価あり。）、認められればそれ以降は任期の定めのない採用に切り替わります。

7. 待遇

1) 給与：国立大学法人千葉大学新年俸制職員給与規程に基づき、学歴・経歴等により決定されます。

2) 勤務時間：原則、専門業務型裁量労働制（みなし労働 1 日 7 時間 45 分）（週 38 時間 45 分相当）適用となります。

3) 休日：原則、土・日・祝日・年末年始となります。

4) 労災保険、雇用保険、厚生年金、文部科学省共済組合に加入となります。

8. 募集期間

2022年4月1日（金）から2022年5月31日（火）

9. 提出書類

電子ファイルを提出していただきます。以下の書類のうち、2は所定の様式を用いてください。それ以外については、様式は任意としますが、ファイル形式は原則として各書類ともPDF、WORD、EXCELのいずれかでお願いします。

1) 履歴書

写真貼付、学歴、職歴、賞罰、電話番号、電子メールアドレスを記載

2) フロンティア医工学センターの指定する教員審査調書（WORD） および業績一覧（EXCEL）

- 各様式は以下のページからダウンロードしてください。
https://www.cfme.chiba-u.jp/recruit/recruit2022AP_2/
- 業績一覧の記載内容は教員審査調書と一部重複しますが、査読付き論文の発表状況や外部資金の獲得状況等をより正確に把握するために使います。評価対象となり得る業績を全て記載してください。

3) 主要論文（3件）の別刷りのPDF

4) これまでの研究概要（1000字程度）

5) 着任後の研究計画および教育についての抱負（A4で計3枚以内）

6) 応募者について意見を伺える方2名のリスト

氏名、所属、連絡先（電子メールアドレスを含む）

10. 選考内容

審査の過程で面接および口頭による研究内容の発表をお願いすることがありますが、旅費は支給できませんのであらかじめご了承ください。また、新型コロナウイルス感染拡大への対策のため、オンライン面接・発表となる可能性もありますことを申し添えます。

11. 書類提出先および問い合わせ先

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33

千葉大学 フロンティア医工学センター 教授 林秀樹

TEL : 043-290-3403

E-mail : hhayashi[at]faculty.chiba-u.jp ([at]を@に変えてください)

URL : <https://www.cfme.chiba-u.jp/recruit/>

一次審査の段階では、電子メールで書類を受け付けます。

12. 備考

本センター、医工学コース、及び医学部附属病院メドテック・リンクセンターの概要につきましては、下記の URL をご参照ください。

<https://www.cfme.chiba-u.jp/>

<https://www.tms.chiba-u.jp/>

https://www.ho.chiba-u.ac.jp/medtec_link/

※千葉大学では、平成18年度に「両立支援企画室」を開設し、平成19年度には文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業に「支援循環型体制による女性研究者育成モデル」が採択され、女性研究者支援と両立支援を並行して積極的に推進しています。なお、研究業績が同等の場合には、女性、外国人、他機関出身者を積極的に採用いたします。